学校番号	４１１

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	明解「世界史Ａ」（帝国書院）						
副教材等	New Stage 世界史詳覧（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史を学ぶ上で大切なのは、地域の多様な時代に生きた人々が、何に心を動かされ、何を求めてそのようなことをしたのかを『考えて』いくことにあります。年号や人名・地名をただ『覚えて』いくことではありません。そして、過去を知ることは現在を理解することにつながり、先人の生きざまを知ることは生きていく上で大きな糧となります。未来を担う皆さんが、よき世界を創造できるような授業を展開します。

歴史的な事項の定着を図るために、また興味・関心を高めるため、いつも歴史地図や図版・写真を参照・利用することを心がけましょう。授業で扱った内容について、自身で調べてみることも有効です。板書事項だけなく、授業のポイントや補足事項を書き留めるなどして、自分自身が理解しやすいノート作りを心がけて下さい。家庭では、復習と定期考査の学習に積極的に取り組んで下さい。

2　学習の到達目標

近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に生き国家・社会を形成する日本国民として責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている
評価方法	作業プリント	定期考査 作業プリント グループディスカッション	定期考査 作業プリント	定期考査 作業プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	1部　世界の一体化と日本　1章　前近代の諸文明	1章　前近代の諸文明 ・人類の始まり ・東アジアの文明 ・南アジアの文明 ・東南アジア ・西アジア,北アフリカの文明 ・ヨーロッパの文明 ・南北アメリカの文明 ・ユーラシアの交流圏	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:前近代の諸文明について、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:前近代の諸文明について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:前近代の諸文明について、資料等を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:前近代の諸文明について、理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	2章　一体化に向かう世界	2章　一体化に向かう世界 ・繁栄するアジア ・大航海時代と新たな国家の形成・繁栄するアジア	 ○ ○		 ○ ○	 ○ ○	a:成熟期を迎えたアジアの諸帝国、16～18 世紀にかけてのヨーロッパ世界の動向、社会・文化の特質、アメリカ・アフリカについて関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:成熟期を迎えたアジアの諸帝国、16～18 世紀にかけてのヨーロッパ世界の動向、社会・文化の特質、アメリカ・アフリカについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:成熟期を迎えたアジアの諸帝国、16～18 世紀にかけてのヨーロッパ世界の動向、社会・文化の特質、アメリカ・アフリカについて資料等を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:成熟期を迎えたアジアの諸帝国、16～18 世紀にかけてのヨーロッパ世界の動向、社会・文化の特質、アメリカ・アフリカについて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 作業プリント

2学期	3章　欧米の工業化とアジア諸国の動揺	3章　欧米の工業化とアジア諸国の動揺 ・ヨーロッパとアメリカの諸革命 ・自由主義,ナショナリズムの進展 ・アジア諸国の動揺 ・東アジアの大変動	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○		 ○ ○ ○ ○	a:欧米の諸革命、自由主義、ナショナリズム、ヨーロッパの進出によるアジア諸国の動揺について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:欧米の諸革命、自由主義、ナショナリズム、ヨーロッパの進出によるアジア諸国の動揺について考察し、その過程や結果を適切に表現している。 欧米の近代化とアジアとの差についてグループに分かれて討議し、意見を述べている、 c:欧米の諸革命、自由主義、ナショナリズム、ヨーロッパの進出によるアジア諸国の動揺について資料等を収集し有用な情報を選択し、図表などにまとめたりしている。 d:欧米の諸革命、自由主義、ナショナリズム、よるアジア諸国の動揺について理解し、知識を身に付けている。	定期考査 作業プリント グループ討議とその発表
	2部　地球社会と日本　1章　現代世界の芽生えと世界大戦	1章　現代社会の芽生えと世界大戦 ・現在につながる社会の形成 ・第一次世界大戦がもたらしたもの ・“民族自決”を求めて ・経済危機から第二次世界大戦	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	a:社会の急激な変化と帝国主義時代の世界の一体化、第一次世界大戦の原因と性格、アジアのナショナリズム、世界恐慌と第二次世界大戦の原因や性格について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:社会の急激な変化と帝国主義時代の世界の一体化、第一次世界大戦の原因と性格、アジアのナショナリズム、世界恐慌と第二次世界大戦の原因や性格について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:社会の急激な変化と帝国主義時代の世界の一体化、第一次世界大戦の原因と性格、アジアのナショナリズム、世界恐慌と第二次世界大戦の原因や性格について資料等を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:社会の急激な変化と帝国主義時代の世界の一体化、第一次世界大戦の原因と性格、アジアのナショナリズム、世界恐慌と第二次世界大戦の原因や性格について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 作業プリント

3学期	2章　冷戦から地球社会へ	2章　冷戦から地球社会へ ・冷たい戦争の時代 ・冷戦終結への道のり ・地球社会への歩み ・持続可能な社会をめざして	 ○ ○ ○ ○	 ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:第二次世界大戦後の米ソを中心とする両陣の対立、冷戦の終結、国際社会における日本の役割、地球規模での問題について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:第二次世界大戦後の米ソを中心とする両陣の対立、冷戦の終結、国際社会における日本の役割、地球規模での問題について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:第二次世界大戦後の米ソを中心とする両陣の対立、冷戦の終結、国際社会における日本の役割、地球規模での問題について資料等を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:第二次世界大戦後の米ソを中心とする両陣の対立、冷戦の終結、国際社会における日本の役割、地球規模での問題について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。